

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 グローブライド株式会社 上場取引所 東
コード番号 7990 URL <https://www.globeride.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 鈴木 一成
問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員管理本部長（氏名） 谷口 央樹（TEL）042-475-2115
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	65,573	0.5	4,893	△2.4	5,094	5.3	3,928	18.1
2025年3月期中間期	65,253	△3.9	5,011	△23.2	4,840	△32.8	3,327	△34.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,172百万円（△72.5%） 2025年3月期中間期 7,906百万円（△3.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	170.85	—
2025年3月期中間期	144.78	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	113,378	62,540	54.9
2025年3月期	113,957	61,268	53.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 62,289百万円 2025年3月期 61,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2026年3月期	—	45.00			
2026年3月期（予想）			—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	125,000	0.8	5,400	△17.0	5,500	△15.3	4,300	△10.1
								186.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	24,000,000株	2025年3月期	24,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,000,203株	2025年3月期	1,011,324株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	22,991,781株	2025年3月期中間期	22,981,585株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に、景気は緩やかな回復基調が見られるものの、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、円安による物価上昇に伴う消費マインドの停滞により、依然として先行きが見通し難い状況が続いております。海外においては、欧米を中心に個人消費が持ち直してきた一方で、ウクライナ情勢や中東情勢等の地政学的リスク、欧米各国の引き続き高い金利水準、中国経済の景気減速に加え、米国の通商政策の動向や金融政策の影響など、先行きに不透明感が増す状況となりました。

こうした情勢の下、当社グループの属するアウトドア・スポーツ・レジャー業界の市況は、エネルギー価格の高騰や物価高による家計への負担増等の影響を受け、力強さに欠ける状況となりました。

そのような中、当社グループにおきましては、ライフタイム・スポーツ・カンパニーとして、自然とスポーツを愛する皆様に、魅力ある製品と質の高いサービスの提供を行った結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高は655億7千3百万円（前年同期比0.5%増）となりました。利益面におきましては、原価改善により粗利益が増加した一方で、販売費及び一般管理費が増加したこと等により、営業利益は48億9千3百万円（前年同期比2.4%減）、経常利益は外貨建債権の評価益の増加等により50億9千4百万円（前年同期比5.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は39億2千8百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高及び振替高を含んでおります。

日本

日本地域におきましては、エネルギー価格や物価の高騰が家計の可処分所得に影響を及ぼしている状況から、アウトドア・スポーツ・レジャーの市況は依然足取りの重い状況となっております。そのような中、当社グループは、フィッシングではスピニングリール「SALTIGA」、「LUVIAS」やソルトウォーター用ロッド「EMERALDAS」、ゴルフでは「ONOFF LADY」など、お客様にご満足いただける新製品の投入とサービスの提供を行い、売上高は418億2千2百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益は、粗利益の増加等により、37億6千6百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

米州

米州地域におきましては、市場在庫の調整は落ち着き、市況は緩やかに回復しつつありますが、米国関税政策の影響等もあり、先行き不透明な状況にあります。そのような中、米国市場向けには「TATULAシリーズ」を始めとしたバスフィッシング用品や海釣り用のリールを中心に販売拡大の取り組みを行った結果、売上高は81億7千4百万円（前年同期比1.5%増）となりましたが、販売費及び一般管理費が増加したことにより、セグメント利益は5千8百万円（前年同期比63.2%減）となりました。

欧州

欧州地域におきましては、各国金利の高止まりやエネルギー価格の高騰から、消費マインドの改善ペースは弱く、市況は底打ちの兆しを見せたものの、引き続き力強さに欠ける状況にあります。そのような中、各地域のニーズに合った製品の投入等を行い、売上高は92億5千万円（前年同期比0.3%増）となりましたが、セグメント利益は6億3千3百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

アジア・オセアニア

アジア・オセアニア地域におきましては、国ごとの社会経済情勢にばらつきがありますが、中国を中心に引き続き景気は低迷しており、個人消費も低調な状況にあります。そのような中、当社グループにおきましては、日本製の高級品や現地専用品を中心に売上拡大に取り組んだ結果、売上高は249億2千2百万円（前年同期比5.3%増）となりましたが、セグメント利益は23億1千6百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、主に有形固定資産の減少等により前連結会計年度末に比べ5億7千9百万円減少し、1,133億7千8百万円（前連結会計年度末は1,139億5千7百万円）となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益を計上した一方で、為替換算調整勘定が変動したことにより前連結会計年度末に比べ12億7千2百万円増加し、625億4千万円（前連結会計年度末は612億6千8百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。修正の内容及び修正の理由につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,299	9,821
受取手形及び売掛金	13,848	17,046
電子記録債権	385	536
商品及び製品	33,126	34,097
仕掛品	4,658	4,645
原材料及び貯蔵品	4,424	4,654
その他	4,874	3,370
貸倒引当金	△384	△400
流動資産合計	73,233	73,771
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,030	6,013
その他(純額)	21,590	19,995
有形固定資産合計	27,621	26,009
無形固定資産		
その他	1,511	1,415
無形固定資産合計	1,511	1,415
投資その他の資産		
投資有価証券	6,692	7,591
退職給付に係る資産	243	232
その他	4,694	4,396
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	11,590	12,181
固定資産合計	40,723	39,606
資産合計	113,957	113,378

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,750	5,813
電子記録債務	978	1,390
短期借入金	13,174	13,847
未払法人税等	442	924
賞与引当金	942	1,114
役員賞与引当金	60	37
その他	7,769	7,134
流動負債合計	29,118	30,263
固定負債		
長期借入金	14,609	12,021
退職給付に係る負債	5,673	5,611
その他	3,287	2,940
固定負債合計	23,570	20,573
負債合計	52,689	50,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,184	4,184
資本剰余金	41	57
利益剰余金	45,338	48,347
自己株式	△874	△866
株主資本合計	48,689	51,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,653	4,280
繰延ヘッジ損益	38	50
土地再評価差額金	1,951	1,951
為替換算調整勘定	6,800	4,374
退職給付に係る調整累計額	△112	△89
その他の包括利益累計額合計	12,330	10,566
非支配株主持分	248	251
純資産合計	61,268	62,540
負債純資産合計	113,957	113,378

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	65,253	65,573
売上原価	40,491	40,209
売上総利益	24,762	25,363
販売費及び一般管理費	19,750	20,470
営業利益	5,011	4,893
営業外収益		
受取利息	45	35
受取配当金	77	101
不動産賃貸料	3	4
為替差益	-	188
その他	333	241
営業外収益合計	460	571
営業外費用		
支払利息	258	276
為替差損	233	-
固定資産除却損	48	34
デリバティブ評価損	39	-
その他	51	60
営業外費用合計	632	370
経常利益	4,840	5,094
特別利益		
固定資産売却益	18	2
特別利益合計	18	2
特別損失		
固定資産売却損	3	2
特別損失合計	3	2
税金等調整前中間純利益	4,854	5,094
法人税、住民税及び事業税	1,516	1,167
中間純利益	3,338	3,927
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	11	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	3,327	3,928

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	3,338	3,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△157	626
繰延ヘッジ損益	△31	11
為替換算調整勘定	4,752	△2,417
退職給付に係る調整額	3	23
その他の包括利益合計	4,567	△1,754
中間包括利益	7,906	2,172
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,878	2,164
非支配株主に係る中間包括利益	27	8

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	34,946	8,047	9,217	13,041	65,253
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	34,946	8,047	9,217	13,041	65,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,943	9	8	10,636	18,598
計	42,889	8,056	9,226	23,678	83,851
セグメント利益	3,268	159	721	2,613	6,761

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,761
セグメント間消去及び全社費用(注)	△1,750
中間連結損益計算書の営業利益	5,011

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	34,218	8,167	9,218	13,968	65,573
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	34,218	8,167	9,218	13,968	65,573
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,604	7	31	10,953	18,596
計	41,822	8,174	9,250	24,922	84,169
セグメント利益	3,766	58	633	2,316	6,775

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,775
セグメント間消去及び全社費用(注)	△1,882
中間連結損益計算書の営業利益	4,893

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。